



前頁にご紹介しているとおり、フォーインは創業以来これまで主に北米・欧州・アジアなど自動車産業にかかわる特別調査報告書を「地域的」単位に発行してきました。しかし、21世紀にはいつて世界自動車産業界の動きは年を追う毎にグローバルな変化が激しくなり、その競争・競合と協力関係はますます多面的かつ多角的になってきました。そこでフォーインでは、2008年度からこれまでの地域別調査スタイルに加えて、広く世界的視点からの調査/研究/報告書の充実を進めております。

世界自動車メーカー年鑑 2013
環境技術で新たな合従連衡
新興国で試される日本車の競争力
新興国台頭による業界秩序変化と主要メーカーの提携戦略を巻頭特集にて分析報告!!!

世界自動車統計年刊 2012
●世界82カ国の販売と世界47カ国の生産台数実績を車種別、ブランド別に整理!!
●世界の自動車産業に関わる行政・貿易政策、生産・販売の最新動向を解説!!

世界商用車産業の2020年展望
- 急成長の新興国メーカーを加えて進む世界競争のパラダイムシフト
●新興国比率が8割超の中・大型商用車市場と6割超の小型商用車市場を分析!!

自動車メーカーは急速に拡大する新興国向けに地域特性に応じた製品開発が求められる一方、先進国では燃費規制によってパワートレイン技術改良やハイブリッド車・EVの次世代技術競争も激化しております。このため自動車メーカー間の提携も動きも活発化しています。当調査報告では、新たに中国の北京汽車集団を加えて世界自動車メーカー46社を概観、ファクトブックとしてのデータを充実させ、最新動向をフォローアップするとともに、巻頭に世界における競争を分析するため必要となる自動車メーカーの提携戦略と新興国における競争の焦点を特集形式で報告いたします。

世界の自動車市場は、リーマンショック後低速・縮小する先進国市場を補って、新興国市場の成長が牽引する形で成長が持続しております。中国の成長は鈍化したものの、2011年にはBRICs諸国のほかインドネシア、トルコなどの市場が拡大し7,730万台へと拡大しました。当調査報告では、セグメント別、ブランド別、モデル別の2011年自動車生産・販売台数実績を、独自に入手した各国統計から集計し分析いたしました。2012年版ではスリランカとアゼルバイジャンを加えた82カ国を対象に、生産・販売統計を整理致しました。

2010年、世界の商用車販売に占める新興国比率は中・大型車が8割、小型車が6割を超えた。これを背景に、中・大型分野では、東風集団、中国一汽、重汽集団が世界生産トップ3となり、小型分野でも福田汽車と東風集団が躍進しました。だが、売上金額は欧州トップ企業の2割前後にとどまるため、新興国メーカーは製品・技術力を強化してブランド力向上に努力。先進国メーカーは競争地位の防衛に向けて新興国展開を強化。世界の商用車産業で進展する業界再編を含めてレポートします。

目次紹介
第1章 世界自動車メーカーの競争ポジション
第2章 米国自動車メーカー
第3章 欧州自動車メーカー
第4章 日本自動車メーカー
第5章 アジア自動車メーカー

目次紹介
第1章 自動車産業・市場動向
第2章 世界自動車販売：米国回復、ポスト中国の新興市場率引で成長軌道に戻る
第3章 北米：●米国 ●カナダ ●メキシコ ●ブラジル ●アルゼンチン ●ペネスエラ ●コロンビア ●エクアドル ●チリ ●ペルー ●ウルグアイ ●ボリビア ●パラグアイ ●オーストラリア ●ニュージーランド ●インド ●タイ ●インドネシア ●シンガポール ●フィリピン ●ベトナム ●インド ●パキスタン ●ウズベキスタン ●カザフスタン ●オーストラリア ●ニュージーランド ●アフリカ：●南アフリカ ●エジプト ●モロッコ ●アルジェリア ●チュニジア ●ケニア ●中国 ●台湾 ●韓国 ●インドネシア ●フィリピン ●ベトナム ●オーストラリア ●ロシア ●アゼルバイジャン

目次紹介
第1章 世界商用車産業の競争のパラダイムシフト
第2章 世界商用車市場の現状と将来展望
第3章 欧州商用車メーカー
第4章 日本商用車メーカー
第5章 米国商用車メーカー
第6章 中国商用車メーカー
第7章 その他新興国商用車メーカー
付録 世界商用車メーカーの主要生産・事業拠点一覧

●発行：2012年11月27日 ●体裁：A4判、350頁 ●価格：140,000円(税込147,000円) 国内送料込

●発行：2011年10月7日 ●体裁：A4判、203頁 ●価格：160,000円(税込167,000円) 国内送料込

●発行：2013年2月 ●体裁：A4判、278頁+CD ●価格：148,000円(税込155,400円)、国内送料込

世界自動車部品産業年鑑 2012
新興国市場の急拡大で進む部品コスト・技術戦略の多様化
●自動車生産の新興国シフトで変化する世界の自動車部品産業を鳥瞰!!
●新興国対応と環境・安全技術開発を競う業界動向を分野別に俯瞰!!

世界自動車メーカーの小型車競争
急増続ける世界小型車市場での拡販、低コストと環境技術、新たな魅力を競う
●世界自動車各社の小型車戦略を地域別販売とともに鳥瞰!!
●世界32ブランド小型車100モデルの製品・販売動向を整理!!

中国自動車部品産業 2013
自動車生産回復を受け増産対応で進む部品産業の再編
◆不況を脱し安定した収益源となった北米でのサプライヤーの事業戦略を詳報!!
◆収益性維持へ日欧サプライヤーの米南米/メキシコへの進出動向を報告!!

目次紹介
第1章 世界自動車部品産業の将来展望
第2章 世界自動車部品産業分野別業界トレンド
第3章 世界自動車部品産業の活用を競う世界部品産業
第4章 世界自動車部品メーカー50社の最新技術・新製品動向

目次紹介
第1章 世界自動車メーカーの小型車競争
第2章 世界自動車メーカー50社の最新技術・新製品動向
第3章 世界自動車メーカーの部品購買戦略
第4章 世界自動車部品メーカー50社の最新技術・新製品動向

目次紹介
第1章 世界自動車メーカーの小型車競争
第2章 世界自動車メーカー50社の最新技術・新製品動向
第3章 世界自動車メーカーの部品購買戦略
第4章 世界自動車部品メーカー50社の最新技術・新製品動向

●発行：2012年5月8日 ●体裁：A4判、288頁 ●価格：140,000円(税込147,000円) 国内送料込

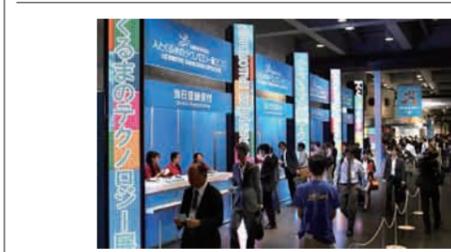
●発行：2010年8月31日 ●体裁：A4判、221ページ ●価格：120,000円(税込126,000円) 国内送料込

●発行：2013年2月 ●体裁：A4判、278頁+CD ●価格：148,000円(税込155,400円)、国内送料込



世界自動車産業専門調査会社
FOURIN ニュース
TEL:(052)789-1101(代) FAX:(052)789-1147

2013年 4月号 No.24
発行日：2013年4月1日(1・4・7・10月の1日)
発行：株式会社フォーイン営業部
〒464-0025 名古屋市中千種区桜が丘292
TEL:052-789-1101(代) FAX:052-789-1147
http://www.fourin.jp



自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2013 出展のご案内
AUTOMOTIVE ENGINEERING EXPOSITION

個別調査相談会のお知らせ
フォーインは、お客様の特定のニーズに対応できるよう受託調査サービスをしております。
今回、「自動車技術展:人とくるまのテクノロジー展2013」に出展するの機に、より多くのお客様に「フォーイン受託調査」サービスを知っていただくため、技術展期間中(2013年5月22日~24日)、受託調査相談会を開催します。

新刊のご案内
北米自動車部品産業 2013

中国自動車産業地図 (税抜価格表)
フォーイングループでは、2010年より中国自動車産業に関わる地図の作成をし、2011年に「中国主要自動車生産拠点図」を更新するとともに、新しく「中国主要自動車メーカーの世界提携関係図」と、「中国自動車メーカーの海外主要生産拠点一覧表」を作成しました。

中国自動車部品産業 2013

現地との関係を強化する欧米系、中長期的な成長戦略問われる日系
◆現地・外資主要自動車メーカー19社の部品調達方針をレポート!
◆現地・外資主要部品メーカー-83社の経営状況と事業戦略を分析!



### 世界自動車調査月報

- 欧州・北米中心に現地取材報告を交えて自動車・市場・部品産業動向を調査分析
- 欧米主要自動車・部品メーカーの経営戦略・事業展開を様々な視点から分析
- 世界の自動車業界を一望する特集を掲載、BRICs特集も充実
- 中近東、アフリカ、中南米、大洋州の自動車市場・産業動向も毎月掲載
- 巻末に月次世界別生産(27カ国)・販売(46カ国)統計、世界メーカー別シェア動向を収録

世界自動車市場では新興国が占める比率が過半数を超えています。ただし新興国といっても、各国の市場ニーズは様々で、また各国の成長テンポも異なりリスクも潜在します。自動車・部品各社とも市場の特性や各国事情を見据えた上での新興国戦略が問われます。一方、成熟市場の欧米では燃費性能、安全運転支援システムやインフォテイメントが焦点となっており、各社にとってこうした分野での技術強化が必須となっています。

-毎月世界各国の月次生産・販売台数速報を掲載(生産27カ国、販売49カ国のデータを掲載し世界の9割以上をカバー、掲載国は随時追加予定)。

-主要自動車メーカー各社の市場シェアも毎月速報。

■発行:毎月5日 ■体裁:A4判・標準66頁 ■創刊:1987年5月  
 ■購読料:年間240,000円(税込252,000円) 国内送料込  
 半年132,000円(税込136,000円)

### 米国電気自動車開発競争

- 連邦政府と加州の燃費規制を詳報
- 電動化推進と市場成長を展望
- 米国市場向けHEV、PHEV、EV等製品スペック概要を収録
- 自動車各社の次世代車戦略を分析

米国では、地球温暖化対策へ改めて燃費規制を強化するほか、政府が電気自動車普及方針を掲げており、米国市場を舞台に世界の主要自動車メーカーが電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車の開発計画を強化しております。本調査資料は、米国の自動車環境規制と産業政策の最新動向をまとめるとともに、日欧米の自動車メーカーが米国市場向けに計画するハイブリッド車、プラグイン・ハイブリッド車、電気自動車などの環境車戦略動向を分析するものです。

■発行:2009年11月 ■体裁:A4判・212頁  
 ■価格:120,000円(税込126,000円)、国内送料込

### 北米自動車部品産業

- 北米でのサプライヤーの最新戦略を詳報
- サプライヤーの南部移管動向を報告
- ダウンサイジング最新動向を特集
- 完成車各社の最新調達動向を詳報
- 3,000ヵ所以上収録のダイレクトリー

北米小型自動車生産が2012年に1,500万台レベルを回復。リストラで北米生産体制を縮小したサプライヤー各社にとって、欧州の低迷や新興国が成長鈍化に見舞われる中、北米事業の重要性が高まっています。更にメキシコへの生産移管、中国サプライヤーによる北米サプライヤーの買収など再編が激化しています。本書は今後予想される再編や競争激化に対応するサプライヤーの戦略や最新動向を詳報します。

■発行:2013年2月 ■体裁:A4判・278頁+CD  
 ■価格:148,000円(税込155,400円)、国内送料込

### 中南米自動車・部品産業

- 現地取材から自動車産業現況報告
- ブラジルの成長と課題を報告
- 世界メーカーの中南米戦略を分析
- 中南米11ヵ国自動車市場を分析
- 部品約1,700社のダイレクトリー

中南米の自動車市場は拡大基調が続き、すでに600万台を超えました。今後も市場拡大が確実視されており、自動車各社が戦略モデルを開発し、2012年以降に現地生産する予定です。本書ではブラジル、アルゼンチン、メキシコなど生産主要国の自動車生産、部品産業の現状と、中南米11ヵ国各国自動車市場の現況と成長見通しを、現地取材から報告致します。

■発行:2011年10月 ■体裁:A4判・319頁+CD  
 ■価格:140,000円(税込147,000円)、国内送料込

### 欧州自動車産業

- 低燃費を競う各社の戦略を分析
- 欧州各社の新興国戦略を分析
- 欧州9社の経営動向、日本各社、現代自の欧州事業動向を詳報
- 欧州市場の構造変化・主要動向

欧州の自動車各社は、成長戦略の軸足をグローバル事業に移して新興国事業強化を進め、新興国で存在感を強めています。一方、欧州では動力性能向上と燃費改善を両立する新技術開発に加え、EVやPHEVの開発計画も進行中です。日本メーカーは競争環境の変化に対応し、競争力強化を図る時機を迎えています。本書では、欧州の環境政策と自動車各社の燃費低減・電動化戦略を特集、グローバル事業展開の焦点について分析しています。

■発行:2011年4月 ■体裁:A4判・323頁+CD  
 ■価格:120,000円(税込126,000円)、国内送料込

### 欧州自動車部品産業

- 部品メーカーのBRICs事業を分析
- 環境安全製品の最新動向を報告
- M&Aによる業界再編動向を報告
- 欧州部品120社の事業概要を収録
- 欧州4,361社のダイレクトリー

欧州の自動車部品業界は、自動車産業へのCO2削減要請を成長機会とらえ、次世代の製品技術を競って提案しております。一方、中国、インド等のBRICsの事業を強化、新興国市場向けの超価格車への対応を積極的に推進しています。本書では、2010年代の成長に向けた二つの課題を特集、環境安全技術への提案を活発化する欧州部品産業の最新動向と、新たな挑戦を始動した新興国事業展開の分析に焦点を当てて報告します。

■発行:2008年3月 ■体裁:A4判・336頁+CD  
 ■価格:120,000円(税込126,000円)、国内送料込

### 米国市場後退の深化と回復シナリオ

- 米国市場の2008年の変化を詳説
- 市場回復見通しと競争焦点を分析
- Big3の経営再建策と行方を展望
- 日本自動車産業の北米依存と脱却のための戦略課題を分析

2008年秋以降の米国市場縮小に、世界の主要自動車メーカーが経営悪化に直面しました。資金難に陥った米国メーカーの再生見通しが注目されています。本書は2008年11月に米国にて行った緊急取材の報告書です。2008年の変化から米国自動車市場の回復に向けた見通しを分析し、今後の自動車メーカー間の競争焦点を展望、回復局面における米国自動車メーカーと日本自動車メーカーの再生・発展の可能性を展望します。

■発行:2008年12月 ■体裁:A4判・88頁  
 ■価格:48,000円(税込50,400円)、国内送料込

### アジア自動車調査月報

- アジアの発展を成長機会に変える
- 産業政策・制度変更を迅速に報告
- 現地系メーカーの成長戦略を分析
- 日米欧系各社のアジア戦略を分析
- 月次自動車生産・販売統計を掲載

高い成長性とコスト競争力を内包するアジア自動車産業。タイとインドネシアでは自動車販売がそれぞれ100万台を超え、マーケットとしての重要性が一層高まっています。世界有数の自動車大国となったインドでは、ディーゼル車販売が急拡大するなど、事業環境が目まぐるしく変化。また韓国やASEANなどは電動化推進に向けて始動しています。当月報ではアジアの市場動向、産業政策、メーカー各社の事業戦略を報告します。

■発行:毎月20日 ■体裁:A4判・標準53頁 ■創刊:2007年1月  
 ■購読料:年間216,000円(税込226,800円) 国内送料込  
 半年120,000円(税込126,000円)

### アジア自動車産業

- アジア自動車産業の発展戦略を分析
- アジア自動車生産の将来像を分析
- 主要メーカーの事業戦略・動向を報告
- 自動車市場規模と需要構造を解剖
- 主要各国のモデル別販売統計を収録

アジアでは、2015年に自動車市場が1,000万台に達することに加え、輸出拠点化が進むため、自動車生産が1,600万台に達すると予測されます。このなかで内需拡大や投資優遇策などを背景に増産投資を獲得する国がある一方、成長戦略が描けていない国もあり、成長見通しには格差が広がっています。また、廉価車投入で新たなコスト競争の時代に入っています。本書ではこれらの動向をまとめ、アジア自動車産業の将来の発展シナリオを分析しています。

■発行:2011年3月 ■体裁:A4判・288頁  
 ■価格:140,000円(税込147,000円)、国内送料込

### アジア自動車部品産業

- アジア部品産業の成長戦略の解剖
- 主要9ヵ国の政策・競争力を分析
- 完成車各社の生産・調達動向を解説
- 部品企業100社の経営動向を分析
- 8ヵ国2,970社ダイレクトリーを収録

アジア部品産業は存在感を増しています。域内の完成車生産拡大に加え、高いコスト競争力を背景に輸出拠点化も進行しており、グローバルなサプライチェーンのなかにより深く組み込まれています。また、韓国や台湾では環境分野に注力する動きも広がっており、多様な発展を遂げようとしています。本書では、主要各国の成長シナリオ、主要完成車メーカーの生産・調達戦略、部品企業の経営動向をまとめ、分析しています。

■発行:2011年11月 ■体裁:A4判・230頁+CD  
 ■価格:140,000円(税込147,000円)、国内送料込

### インド自動車・部品産業

- インド自動車産業の将来を展望
- 急速に変化する事業環境を報告
- 完成車20社以上の経営を分析
- 部品100社の事業動向を解説
- 部品800社ダイレクトリー付き

インド自動車産業はその成長力などを背景に大きな注目を浴びています。四輪車内需と生産がそれぞれ2020年に1,000万台、1,200万台に膨らむと予測されるなかで、事業環境は目まぐるしく変化しており、成長の果実を享受するために各社には現地化強化が問われています。3年ぶりの改訂となる本書では、政策、市場、自動車・部品各社の事業展開を包括的に分析しています。

■発行:2012年12月 ■体裁:A4判・289頁+CD  
 ■価格:160,000円(税込168,000円)、国内送料込

### ロシア・中東欧自動車産業

- ロシア自動車産業の現状を報告
- 中東欧ロシアメーカーの経営戦略
- 各国自動車・部品産業の概要を収録
- 日欧米韓自動車メーカーの

ロシアの乗用車市場は、中期的に300万台規模への成長が期待されます。この機に、世界の自動車メーカーがロシア生産計画を決定、現地生産計画を進めています。また、欧州向け供給拠点としての地位を固めつつある中東欧諸国・トルコでも、新規工場稼働や能力増強計画が活発です。本書は、現地取材で得た情報を基にロシア・ウクライナの自動車産業を展望するほか、中東欧・トルコ各国の自動車産業の現況を報告いたします。

■発行:2007年9月 ■体裁:A4判・261頁  
 ■価格:160,000円(税込168,000円)、国内送料込

### 世界自動車部品産業年鑑

- 世界部品産業のトレンドを鳥瞰
- 部品業界動向を分野別に俯瞰
- 世界主要自動車メーカーの部品調達政策を概観
- 主要部品メーカーの戦略を分析

世界の自動車部品生産の新興国シフトが加速し、また新興国の部品メーカーが成長とともに先進国部品メーカーを買収するケースも見られ、世界の自動車部品産業は、いままさに地域を超えて競う時代に突入しました。当報告書は変わりつつある世界の自動車部品産業の競争トレンドを分析するとともに、先進国と新興国の自動車メーカー各社の部品調達戦略を概観し、世界主要Tier1サプライヤー50社の事業戦略動向を収録致しました。

■発行:2012年5月 ■体裁:A4判・288頁  
 ■価格:140,000円(税込147,000円)、国内送料込

### 外資系部品メーカーの自動車事業戦略

- 外資系部品メーカーの競争焦点を分析
- 外資系240社の中国事業体制を網羅
- 中国部 phậnの技術トレンドを解析
- 中国におけるビジネスチャンスを解明
- 低コスト開発、納入関係などを整理

外資系部品メーカーは依然中国でエンジンや変速機などのコア部品市場を独占しておりますが、近年、中国自動車市場の成長に伴い、現地系の勢力が拡大していることからシェア争いが激化しています。各社は中長期的に成長が期待できる中国での部品需要取り込みを目指し、自動車メーカーとの連携、現地開発体制を強化しております。本書では外資系240社の中国生産・販売・研究体制、納入関係と最近の動向を詳報します。

■発行:2011年11月 ■体裁:A4判・241頁  
 ■価格:140,000円(税込147,000円)、国内送料込

### 中国新エネルギー車産業の実態

- 中国のPHEV/EV産業育成戦略を解明
- 中国のEV覇権獲得戦略を分析
- 充電インフラの整備状況を収録
- 地方政府の新エネルギー車育成計画を整理
- 電気二輪車育成政策・市場動向を分析

中国は2009年から世界最大の自動車生産国となり、世界メーカーからの注目が一層高まっています。近年は外資系メーカーの現地開発も進み、中国は生産だけではなく開発拠点としても現地化が進んでいます。中国政府は省エネ・新エネルギー車の普及に力を入れており、メーカー各社は最先端の技術を中国に導入し、競争が激化する中国市場でシェア争いを繰り広げています。「FOURIN中国自動車調査月報」では、中国・外資系メーカーの最新の動向や産業政策を取り上げ、中国自動車産業の現状を報告いたします。

■発行:2010年10月 ■体裁:A4判・81頁  
 ■価格:60,000円(税込63,000円)、国内送料込

### 中国自動車調査月報

- 中国自動車産業/市場/政策運営を速報
- 中・外資系メーカーの事業動向を分析
- 中国省エネ・新エネルギー産業の現状を報告
- 産業政策、技術規格規制動向を分析
- 月次生産・販売・税関データを収録

中国は2009年から世界最大の自動車生産国となり、世界メーカーからの注目が一層高まっています。近年は外資系メーカーの現地開発も進み、中国は生産だけではなく開発拠点としても現地化が進んでいます。中国政府は省エネ・新エネルギー車の普及に力を入れており、メーカー各社は最先端の技術を中国に導入し、競争が激化する中国市場でシェア争いを繰り広げています。「FOURIN中国自動車調査月報」では、中国・外資系メーカーの最新の動向や産業政策を取り上げ、中国自動車産業の現状を報告いたします。

■発行:毎月月末 ■体裁:A4判・標準65頁 ■創刊:1996年4月  
 ■購読料:年間216,000円(税込226,800円) 国内送料込  
 半年120,000円(税込126,000円)

### 中国自動車産業

- 省・新エネルギー等の産業政策を収録
- 自主ブランド事業を詳報
- 中国メーカー25社の経営戦略を分析
- 外資系メーカー21社の中国戦略を網羅
- 中国メーカーの海外事業動向を整理

中国自動車産業は2011年の生産台数が前年比0.8%増の1,842万台と鈍化した。日系は東日本大震災の影響により4.4%増と低迷しましたが、欧米韓は全て2桁の増加を維持し好調です。中国政府は市場成長鈍化の中で外資系メーカーに対して、中国パートナーとの合弁ブランド育成と、省・新エネルギーを始めとした技術移管をより強く求めています。当調査報告書は中国系25社、外資系21社の中国経営戦略を分析しました。

■発行:2012年2月 ■体裁:A4判・293頁+CD  
 ■価格:120,000円(税込126,000円)、国内送料込

### 中国自動車部品産業

- 中国政府の部品産業育成政策を掲載
- 自動車メーカー19社の調達戦略分析
- 自動車部品23分野の主要動向を収録
- サプライヤー83社の事業戦略を分析
- 30社のサプライヤーリストをCD収録

2012年の中国自動車販売台数は前年比4.3%増の1,930万台超を記録しました。先進国市場の冷え込みから外資系サプライヤーは相次いで現地に生産拠点、R&Dセンター等を設立し、中国事業を本格化させています。一方、現地系サプライヤーは開発力の上昇が依然として重要な課題となっており、中国政府は省エネ・新エネルギーのコア部品を生産する重点企業の育成に力を入れています。当調査報告書では、内外83社の事業動向を詳報します。

■発行:2013年2月 ■体裁:A4判・342頁+CD  
 ■価格:148,000円(税込155,400円)、国内送料込

### 中国新エネルギー車産業の実態

- 電動車モデルの開発動向を徹底調査
- 中国自動車企業の新エネルギー車戦略を分析
- 電動二輪車企業の事業戦略を整理
- 関連サプライヤーの事業動向を報告
- 新エネルギー車普及に向けた技術課題を解析

中国自動車企業は、新エネルギー車開発を強化していますが、日系メーカーが技術的に先行するHEVでの正面対決を回避し、中国政府から強力な支援を受けられるEV、PHEVに集中した開発を強化する一方、電動二輪車や簡易電動車など中国独自の製品市場育成を目指しています。「市場+メーカー+製品編」では、自動車メーカーの製品・技術戦略を中心に中国の新エネルギー車産業を報告します。

■発行:2010年12月 ■体裁:A4判・109頁  
 ■価格:60,000円(税込63,000円)、国内送料込

### 日本自動車調査月報

- 日本自動車各社の世界展開を網羅
- 部品各社の事業戦略をレポート
- 小型車/次世代環境車戦略を分析
- 国内の政策/規制や市場動向を分析
- 世界生産/販売の月次データを掲載

日本自動車産業は、電動化による次世代環境戦略と低価格車による新興国戦略を軸に成長戦略を推進しています。同時に昨今の円高進行が業界各社の収益を圧迫する中、世界最適生産・調達体制の早急な構築が問われています。「FOURIN日本自動車調査月報」は、日本自動車産業の事業環境・成長戦略を多角的に分析。完成車・部品各社の経営戦略、製販体制、製品/技術動向、調達政策など、分析対象は多岐にわたります。

■発行:毎月15日 ■体裁:A4判・標準62頁 ■創刊:1999年4月  
 ■購読料:年間216,000円(税込226,800円) 国内送料込  
 半年120,000円(税込126,000円)

### 日本自動車部品メーカーの新興国戦略

- 日本メーカーの新興国戦略を分析
- 有望新興国の基礎データを収録
- 主要部品155社の事業動向を網羅
- 日本部品各社の海外4,239拠点ダイレクトリーをexcel形式でCD収録

日本自動車部品産業は、2011年度に新成長戦略を打ち出し、不況時にも需要が堅調な新興国への投資を加速。日本は先端技術開発の中核を、欧米は環境・安全規制等に対応した技術開発を、アジアは現地向け低価格製品の開発を担うといった役割明確化で、新興国と環境の2大テーマに取り組んでいます。本書は、日本主要部品各社の新興国戦略にスポットを当てながら、経営戦略、収益動向、国内外での生産・開発動向、新技術などを網羅しています。

■発行:2011年11月 ■体裁:A4判・232頁+CD  
 ■価格:95,000円(税込99,750円)、国内送料込

### 中国自動車産業の開発・調達戦略

- 完成車と戦略部品の開発競争を分析
- 2010年代主要各社調達戦略を整理
- 業界の技術提携、買収動向を網羅
- 開発・調達動向からトレンドを把握
- 産業集積地への進出特徴を分析

2009年に1,300万台で世界最大生産・販売国に成長した中国自動車市場は垂直的であり最重要戦略市場として改めて認識されています。本書は、数百家に及ぶ中国系および外資系自動車メーカー、部品サプライヤー、素材メーカー、設備メーカーの経営動向を取り上げ、部品取引関係、技術開発と提携、統合再編という3つの視点から2010年代に向けた中国自動車産業の競争環境を俯瞰した調査報告書です。

■発行:2010年4月 ■体裁:A4判・約261頁+CD  
 ■価格:95,000円(税込99,750円)、国内送料込

### 中国省エネ・新エネルギー車産業

- 省エネ・新エネルギー車の普及現状を解明
- 省エネ・新エネルギー車関連支援策を詳報
- 各社の省エネ・新エネルギー車戦略を分析
- モーター・電池等会社の情報を報告
- 電動二輪車・低速EVの事業概要を網羅

中国省エネ・新エネルギー車事業は、中国政府の主導で展開されています。2012年に入り、EV、PHVの保有台数を2015年に50万台、2020年500万台に設定しました。目標達成に向けて政府は省エネ・新エネルギーへの支援強化が見込まれます。当調査報告書は省エネ・新エネルギー車の支援政策、完成車・部品メーカーの省エネ・新エネルギー車戦略、電動二輪車・低速EVの事業概要を報告します。

■発行:2012年8月 ■体裁:A4判・223頁  
 ■価格:160,000円(税込168,000円)、国内送料込